

本リリースの内容は、アメリカ東海岸において、1月8日(木)
午前8:00（日本時間同日午後10:00）に発表しました。

2026年1月15日
株式会社日立製作所

日立、CES 2026において NVIDIA、Google Cloud、Nozomi Networksとの協業を通じ AIで社会インフラを変革する取り組みを発表

AI、モビリティ、電力、サイバーセキュリティ分野にわたる発表を通じ、ハーモナイズドソサエティの実現を加速



CES2026 の日立ブースの様子

株式会社日立製作所(以下、日立)は、1月9日に閉幕した CES 2026において、AIで社会インフラの革新を実現する戦略と具体的なソリューションを発表しました。NVIDIA および Google Cloud との主要な協業による取り組みなど、日立は先進的な AI を世界の重要な社会インフラであるエネルギー、モビリティ、産業分野に適用し、喫緊の社会課題を解決することをめざしています。この戦略の中核をなすのは、CES Foundry セッション「Pioneering AI Technologies for the Physical World」の中心テーマとして紹介しました、AIで社会インフラを革新する日立の次世代ソリューション群「HMAX by Hitachi」(以下、HMAX(エイチマックス))です。

展示ブースでは、日立が一世紀以上にわたり培ってきた OT(制御・運用技術)、IT、プロダクトのドメインナレッジがフィジカル AI の展開を支える基盤となり、社会の安全性、効率性、持続可能性の向上に寄与することを示しました。これは日立のめざす社会イノベーションに合致するものです。CES Foundry イベントのセッションでは、日立の CES2026 出展の集大成として、NVIDIAとともに AIで業界をリードする具体的な戦略を説明しました。

日立アメリカの CMO である Arya Barirani は、「CES 2026への出展は、テクノロジーを通じて日立がめざす『ハーモナイズドソサエティ』を具現化するものです。日立は、社会に直接影響を与えるシステムやインフラを AI で革新できるユニークな立場にあります。送配電網や、鉄道システム、産業アプリケーションなどに AI を組み込んでいくことで、複雑な課題を革新的に解決し、持続可能で連携し合う世界の未来を示しています」と述べています。

CES 2026 における日立の主な発表とハイライト：

・ HMAX の展開

日立は次世代ソリューション群 HMAX の幅広い展開により、AI で社会インフラを革新することを発表しました。日立レールが最初に導入した HMAX は、現在、変革が求められる 3 つの複雑な社会インフラであるモビリティ、エネルギー、産業分野に展開されています。このソリューション群は、フィジカル・デジタル両方のアセットから得られる膨大なデータを活用し、先進的な AI(Perception AI、生成 AI、Agentic AI、フィジカル AI)を統合するとともに、長年にわたる運用システムの導入・保守で培った日立の深いドメインナレッジを生かすことで、革新的な価値を提供します。HMAX は、プロダクト、OT、AI を掛け合わせる日立ならではの強みによる、日立の戦略的な成長における主要なドライバーと位置付けられています。

・ Foundry セッション：Pioneering AI Technologies for the Physical World

日立アメリカの CMO である Arya Barirani と、NVIDIA のロボティクスおよびエッジ AI 担当バイスプレジデントである Deepu Talla 氏によるセッションでは、両社の協業が、どのように現実世界での応用を加速させ、フィジカル AI の力を安全に活用することでより効率的で自律的な未来を実現していくのかを探りました。

・ Integrated Industry Automation

バッテリー分野向けとして、精密解析・検査システム、ロールプレス、ドライクリーンルーム、ロボット活用自動化ソリューション、OT-IT プラットフォームなどの提供により、歩留り改善や品質向上を支援します。さらに、リチウムイオン電池ライフサイクルマネジメントの提供により、資源循環の促進や環境負荷の低減に貢献します。

また、バイオ医薬分野向けとして、日立の培養シミュレーションと AI によるパラメータの製造工程へのフィードバックにより、製造リードタイムを 3 分の 1 に短縮させます。また、説明可能な AI を活用し、複雑な医療データから主要なバイオマーカーを抽出して臨床判断を支援する「ヘルスケアデータ分析プラットフォーム」や、再生医療向けにバリューチェーン全体のトレーサビリティを確保する「HVCT RM(Hitachi Value Chain Traceability for Regenerative Medicine)」を提供します。

・ 日立レールと Google Cloud の協業^{*1}

持続可能なモビリティ分野でのリーダーシップ強化のため、日立は鉄道業界の DX 加速に向けた協業を発表しました。Google Cloud の先進的な AI・サイバーセキュリティ技術と、GlobalLogic の高度なデジタルエンジニアリング能力を活用することで、日立レールはオペレーション効率を向上させ、鉄道業界の自律化・省エネルギー化への移行を推進しています。GlobalLogic は、この戦略的パートナーシップにおいて、リーダーシップ、実行、技術提供、戦略的整合性の各面にわたり中核的かつ主体的な役割を担い、「One Hitachi」として推進するという目的の実現に貢献しています。

^{*1} 日立ニュースリリース 2025 年 12 月 3 日 <https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2025/12/1203a.html>

・ OT/IoT セキュリティにおける Hitachi Cyber と Nozomi Networks の提携

日立システムズの海外子会社として Hitachi Cyber ブランドでグローバルのサイバーセキュリティ・サービスを展開する Hitachi Systems Trusted Cyber Management は Nozomi Networks との戦略的協業を発表し、世界水準の

OT・IoT モニタリング・可視化ソリューションを提供します。このパートナーシップは、産業分野における Hitachi Cyber の深い知見と Nozomi Networks の最先端セキュリティ技術を融合し、エネルギー、モビリティ、製造分野の重要なインフラを脅かす物理的およびサイバーの脅威から守るための包括的な防御フレームワークを構築します。

最先端の日立のソリューションを体験

日立ブースでは、来場者に以下のテーマでインタラクティブなデモや展示ゾーンを通じた体験を提供しました。

1. HMAX Mobility, HMAX Energy, HMAX Industry :

HMAX ソリューションによる社会インフラの変革を紹介。インテリジェントな可視化と制御、タスクの自動化などを通じ、お客様の成果と社会への提供価値を最大化。

2. ソフトウェア定義型自動車 (SDV) :

日立のデジタルエンジニアリングとクラウドベースの AI ソリューションが、次世代のインテリジェントでコネクテッドな車両を支える様子を実証。

3. AI シミュレーションによる精度検証 :

NVIDIA の技術を活用することで、複雑な物理環境において AI をテスト・検証するために高度なシミュレーションを活用し、導入前に安全性と信頼性を確保する方法を紹介。

4. 日立の研究開発 :

次世代 AI 活用による現場作業者支援、物流、脱炭素化など、未来に向けた最先端ソリューションのデモンストレーション。

商標注記

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

日立製作所について

日立は、IT、OT(制御・運用技術)、プロダクトを活用した社会イノベーション事業(SIB)を通じて、環境・幸福・経済成長が調和するハーモナイズドソサエティの実現に貢献します。デジタルシステム&サービス、エナジー、モビリティ、コネクティビティ＆ストリーズの 4 セクターに加え、新たな成長事業を創出する戦略 SIB ビジネスユニットの事業体制でグローバルに事業を展開し、Lumada をコアとしてデータから価値を創出することで、お客様と社会の課題を解決します。2024 年度(2025 年 3 月期)売上収益は 9 兆 7,833 億円、2025 年 3 月末時点で連結子会社は 618 社、全世界で約 28 万人の従業員を擁しています。詳しくは、www.hitachi.co.jp をご覧ください。

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
